

KACE®システム管理アプライアンス ( K1000 ) 7.2

リリースノート



# 目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス ( K1000 ) 7.2リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) 7.2について.....	3
新機能と強化点.....	3
解決済みの問題.....	4
既知の問題.....	5
システム要件.....	5
製品ライセンス.....	6
インストール手順.....	6
アップデートの準備.....	6
アダプタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバのアップデート.....	7
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	7
アップデート後のタスク.....	8
正常に完了していることの確認.....	8
セキュリティ設定の確認.....	9
追加のリソース.....	9
グローバル化.....	10
当社について.....	10
名前を超える存在.....	10
当社のブランドとビジョンと、ともに。.....	10
Questへのお問い合わせ.....	11
テクニカルサポートのリソース.....	11
法律上の注意.....	11

# Quest® KACE®システム管理アプライアンス ( K1000 ) 7.2リリースノート

このリリースノート文書は、KACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) バージョン7.2に関する情報を提供します。

## KACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) 7.2について

KACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、物理 / 仮想アプライアンスです。K1000 シリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/jp-ja/products/kace-systems-management-appliance/> をご覧ください。

## 新機能と強化点

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

- 新しいダッシュボードウィジェット。このリリースでは、多数のサービスデスクとデバイスのウィジェットが追加されました。必要に応じてウィジェットライブラリをフィルタリングし、サービスデスクウィジェットのみを表示したり、すべてのウィジェットを表示したりすることもできます。
  - デバイスウィジェットでは、管理対象デバイスのおおまかな概要が示されます。これらのウィジェットを使用すると、デバイスの状態をすばやく確認し、パフォーマンスを改善するためのインジケータを見つけられます。例えば、必要に応じて使用可能なディスク容量の割合を確認し、具体的な問題点に着目できます。
  - サービスデスクウィジェットを使用すると、サービスデスクチケットキューをすばやく確認できます。チケットの状態を確認し、カスタマエクスペリエンスを改善するための対策を講じることが簡単にできるようになります。例えば、必要に応じて期限を超過しているチケットの件数を確認し、具体的な問題点に着目できます。
- KACE Cloud Mobile Device Manager の統合。KACE Cloud Mobile Device Manager を使用してスマートフォンおよびタブレットのアクセス管理とプロビジョニングを行う場合、管理対象モバイルデバイスを検出して KACE システム管理アプライアンスインベントリおよび資産管理にプロビジョニングできます。
- ユーザーのアーカイブ。管理者は、適切な監査証跡を保持し、チケットの孤立を防止するため、ユーザーアカウントを無効にしてそのユーザーのチケットの関連付けとチケット履歴をメンテナンスできるようになりました。ユーザー詳細 ページと ユーザー リストの両方からユーザーをアーカイブできます。

製品の新しい機能の詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。このリリースの新機能については、弊社サポートサイトで公開されているビデオチュートリアルをご覧ください。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/kb/video-articles?k=what%27s+new>。

# 解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

## 一般的な解決済みの問題

解決済みの問題	問題 ID
ファイルバージョン kscript コマンドが正常に終了しませんでした。	K1-19441
サイズの大きいファイルではレプリケーションが失敗する可能性があります。	K1-19351
ライセンスコンプライアンス ページでスイートの使用カウントをクリックすると、誤った結果を生じます。	K1-19333
バージョン 7.1 にアップグレードすると、一部の言語が デフォルトのロケール フィールドから欠落していました。	K1-19326
印刷できない ASCII 文字が E メール属性に含まれている場合、LDAP インポートに失敗しました。	K1-19302
kbot XML を編集して保存すると、依存関係と Windows を別のユーザーとして実行設定が失われました。	K1-19292
エンドポイントから受信したインベントリにスペースが含まれていると、不適切な処理となる可能性があります。	K1-19291
名前にフォワードスラッシュ (/) が含まれている資産タイプはエラーの原因になりました。	K1-19290
VMware ESXi インベントリに対して、個々のブレードのシリアルナンバーではなくバックプレーンのシリアルナンバーが報告されました。	K1-19286
削除対象として選択したチケットが削除されず、アーカイブされました。	K1-19276
資産の場所が正しくアップグレードされませんでした。	K1-19250
URL にアンパサンド (&) が含まれる場合、サービスデスクで好ましくない動作が発生しました。	K1-19249
バッチの展開を行った日時が表示されませんでした。	K1-19246
場所が更新されたときに、資産履歴が追跡されていませんでした。	K1-19232
資産から添付ファイルを削除できませんでした。	K1-19231
ソフトウェアリストをエクスポートすると列がずれました。	K1-19194
Smart Label にバッチを適用すると、バッチダウンロードプロセスでメモリが不足する場合があります。	K1-19174

解決済みの問題	問題 ID
初回チケット作成時に、所有者に不要な E メールが送信されました。	K1-18713
デバイスラベル別でも制限設定が有効にされている場合、ユーザーコンソール ライブラリにソフトウェアが表示されないときがありました。	K1-18399
Smart Label にデバイスを追加または削除した場合、アプリケーション制御が機能しないときがありました。	K1-18392
カスタムチェックボックスに False のデフォルト設定が反映されませんでした。	K1-17437
Samba バージョン 3.5.0 以降で、Samba の脆弱性 ( CVE-2017-7494 ) が検出されました。	ESMP-5174
Windows Powershell が C:ドライブに存在しない場合、エージェントが仕様通りに機能しませんでした。	ESMEC-2220
バッチ検出中の OSPX ファイルの検証が強化されました。	ESMEC-2201

## 既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

### 一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
Microsoft Windows 10 から、Microsoft は電源管理でのウェイクアップ時にパスワードを必要とするかどうかを設定するオプションを削除しました。当社の電源管理ポリシースクリプトは、Windows 7、8 以上を対象にしています。しかし、Windows 10 デバイスにポリシーを設定しても、ポリシーの影響はありません。Windows 10 のデフォルトでは、ウェイクアップ時に常にパスワードが要求されます。	ESMEC-2024

## システム要件

K1000 7.2をインストールするために必要な最小バージョンは7.1 ( 7.1.149 ) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

K1000 エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 6.4 です。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして以下のステップのいずれかを実行します。

- 7.1 以降の場合。ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。
- 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 ( ? ) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、K1000 について をクリックします。

バージョン 7.2 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、K1000 の技術仕様で確認できます。

- 物理アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

## 製品ライセンス

現在 K1000 の製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めて K1000 を使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。[追加のリソース](#)に移動して、適切なガイドを確認します。

**i** 注: バージョン 7.2 の製品ライセンスは、バージョン 6.3 以降を実行する K1000 アプライアンスでのみ使用できます。バージョン 7.2 のライセンスは、6.0 など K1000 の以前のバージョンを実行するアプライアンスでは使用できません。

## インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [アップデートの準備](#)
- [アドバタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバのアップデート](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)

**i** 注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、K1000 7.0 リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

## アップデートの準備

K1000 サーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- K1000 サーバのバージョンの確認：  
K1000 7.2 をインストールするために必要な最小バージョンは 7.1 ( 7.1.149 ) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。
  - 7.1 以降の場合。ページの右上隅にある [サポートが必要な場合](#) をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。
  - 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 ( ? ) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、[K1000 について](#) をクリックします。
- K1000 サーバのバージョンの確認：

K1000 エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 6.4 です。

- 開始前のバックアップ :

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップを K1000 サーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』( <https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/administrator-guide/> ) を参照してください。

## アドバタイズされたアップデートを使用した K1000 サーバのアップデート

管理者コンソールの ダッシュボード ページまたは アプライアンスの更新 ページで、アドバタイズされたアップデートを使用して K1000 サーバをアップデートできます。

**!** **注意:** アップデート中、K1000 サーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド ( <https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/administrator-guide/> ) を参照してください。
2. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール ( [http://K1000\\_hostname/system](http://K1000_hostname/system) ) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。

**i** **重要:** 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 7.2 が適用されます。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

## アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、K1000サーバを更新できます。



注意: アップデート中、K1000 サーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、K1000サーバの.kbinファイル (7.2 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
  - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
  - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン 7.2 が適用されます。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

## アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

### 正常に完了していることの確認

K1000 のバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール ([http://K1000\\_hostname/system](http://K1000_hostname/system)) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。



## セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
  - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール ( [http://K1000\\_hostname/system](http://K1000_hostname/system) ) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
  - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
  - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
  - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

**注意:** これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード ( 2FA ) アクセスの難度を上げます。
  - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
  - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
  - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
  - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

テザリングが確立されている場合は、トークンがKACEサポートに提供される必要があります。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

## 追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント ( <https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-documents> )
  - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。  
物理アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。  
仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：物理アプライアンスおよび仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/7.2/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-systems-management-appliance/7.2/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

## グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、以下の言語のローカライズ版が用意されています：フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

## 当社について

### 名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへの Quest の促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社はお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

### 当社のブランドとビジョンと、ともに。

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

## Questへのお問い合わせ

セールスまたはその他のお問い合わせについては、<https://www.quest.com/jp-ja/company/contact-us.aspx>を参照するか、1-949-754-8000までお電話ください。

## テクニカルサポートのリソース

サポートポータルでは、迅速に独力で問題を解決するために使用できるセルフヘルプツールを年中無休（24時間体制）でご利用いただけます。サポートポータルでは次のことを行うことができます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

## 法律上の注意

Copyright 2017 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

#### Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at <https://www.quest.com/jp-ja/legal/>. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

#### 凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンス ( K1000 ) リリースノート

更新日 - 2017 年 6 月

ソフトウェアバージョン - 7.2